

平成 27 年度

豊中市立図書館の中長期計画

(豊中市立図書館グランドデザイン)

進捗状況一覧表

- 図書館の使命と理念
- 概念図
- 4つの目標
- 28のプラン

平成 28 年 7 月

豊中市立岡町図書館

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・多様な資料や情報を収集・保存し提供することにより、すべての市民に知る機会を保障します。
- ・民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関として、その任務を果たすことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて、教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等に優しい情報提供や読書環境を整備し、誰もが共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等をふまえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

〈グランドデザイン 4つの目標と28のプラン 概念図〉

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために、平成26年3月に策定されたものです。

1 市民と地域の自立を支えます

G サービス(a 利便性の向上)
⑳ 図書館活用の幅を広げる ㉑ 集会室利用の活性化

G サービス(b 地域との関係強化)
㉒ 市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援
㉓ 地域情報の活用機会の提供 ㉔ 図書館サポーターへの参加機会の提供

2 利便性を向上させ、あらゆる情報を提供します

G サービス(a 利便性の向上)
① セルフ貸出、返却、予約受取
② 開館日数の拡充
③ 予約資料の受取場所の拡充
④ ICTの活用
⑤ 広域連携の拡大

今後10年に特化した4つの目標

3 地域課題の解決に尽力します

D 調査・分析
① 調査分析

F 資料
② 地域で必要とされる資料の提供

B 職員(a 組織)
③ グループ制の導入
④ 館ごとの目標設定

B 職員(b 人材育成)
⑤ 関連部局との人事交流

G サービス(b 地域との関係強化)
⑥ 地域情報の活用機会の提供

4 子どもの学びを支えます

B 職員(b 人材育成)
⑦ 学校図書館を支援する人材の配置

目標実現を支えるプラン

A 図書館運営
① 最適な実施手法の確立
② 評価システム
③ 業務の改善・集中化

B 職員(a 組織)
④ 職員の役割分担
⑤ 採用計画の作成

B 職員(b 人材育成)
⑥ 関連部局との人事交流
⑦ 体系的な研修の実施
⑧ 先進事例の研究

C 施設・物流(b 物流)
⑨ 柔軟な物流体制

C 施設・物流(a 施設活用)
⑩ 施設配置の最適化

E 情報
⑪ 情報の積極的収集、共有・活用

G サービス(a 利便性の向上)
⑫ セルフ貸出、返却、予約受取
⑬ きめ細やかな接客

H 広報
⑭ 効果的な広報

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成27年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35(2023)年までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

・0～4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、優先順位を決定しています。なお決定にあたってはそれぞれのプランの重要度による判断ではなく、その年度ごとに状況を勘案し、直接サービスに関わる分館の施設長なども関わって、優先して取り組むべきものを選択しています。

・28のプランを関連する4つの目標(1～4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。

・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。

・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とし
達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 -:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成28年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:㉑図書館サポーターへの参加機会の提供】 【事例】 26年度に続き、庄内図書館等で成人利用者向けの「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、利用者が図書館の仕事の一部を体験できる機会をもちました。また、図書館協議会ではサポーター制度について検討し、3月に「図書館サポーターについての意見書」としてまとめられました。		【課題】 ○意見書をふまえた、市民それぞれの得意分野で活躍できる制度設計㉑ ○ 【平成28年度に向けての取り組み】 ・図書館協議会の意見書を受けて、方法を研究・調査し、28年度中にサポーター制度を導入します。㉑

2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。該当プラン ⑰・⑱・㉕・㉖・㉗

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成28年度に向けての取り組み
【優先的取組プラン:⑰セルフ貸出、返却、予約受取】 【事例】 セルフ貸出機を庄内・東豊中・服部・高川・蛍池に導入するとともに、千里では資料点検期間内でもセルフ予約棚を開放することで、予約の受け取りを可能にしました。	◎	【課題】 ○セルフ貸出機の導入館が8館になったことによるサービスの効果検証⑰ ○千里図書館の開館日拡充に向けての必要な条件整備、バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化⑱ ○セルフ予約棚、セルフ返却機、セルフ貸出機の効果検証⑳
【優先的取組プラン:⑱開館日数の拡充】 【事例】 資料点検期間については、セルフ貸出機設置の工事を実施した図書館以外は、概ね1日から4日の期間短縮を行いました。 千里図書館では、5日間の資料点検中にセルフ予約棚を開放することで、部分的な開館につなげました。	△	【平成28年度に向けての取り組み】 ・8館にセルフ貸出機が導入されたことによる効果検証をすすめます。また引き続き利用者に丁寧な案内を行い、セルフ貸出機等の利用率の向上をめざします。⑰ ・プラン⑤(職員の役割分担)で作成した職員の役割分担表をもとに事業見直しを行い、効率化をはかります。 ・庄内幸町を除く全館にセルフ機の設置が完了したことを機に、全館的な効果検証を行うとともに、千里図書館における月曜開館にむけた具体的なプランを検討します。⑱ ・マルチメディアデジタイズ図書の貸出を4月より開始します。 ・国会図書館デジタル化送信サービスに対応し、市民に国会図書館のデジタルデータを提供できるよう機器の設置を行います。㉑
【優先的取組プラン:㉕ICTの活用】 【事例】 セルフ貸出機を庄内・東豊中・服部・高川・蛍池に導入しました。セルフ予約棚を導入している千里では資料点検期間内でも予約の受け取りが可能となりました。		

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・㉔

優先的な取組プラン、事例	達成状況	課題、平成28年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑦館ごとの目標設定】</p> <p>【事例】 高川図書館が(仮称)南部コラボセンターのサテライトの役割を担う視点で詳細設計を行いました</p>	○	<p>【課題】 ○図書館全域サービスの必要性から見た長期・短期の目標の設定⑦</p> <p>【平成28年度に向けての取り組み】 ○建物の老朽化という視点からも図書館施設のあり方や配置を検討し、各館の目標を設定します。⑦</p>

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成28年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】</p> <p>【事例】 学校図書館を活用した授業例「とよなかスタンダード」(試作版)を作成し各学校に配布しました。教職員向けの校内研修メニューにも「とよなかスタンダード」を組み込み、学校図書館を活用した授業計画を作成する研修を行いました(平成27年度7校)。 授業における学校図書館活用の現状を把握し、さらなる活用を進めるため、各学校図書館での事例を集約するフォーマットを作成、各学校での記入を開始しました。 学校での読書活動や調べ学習等の取組みを紹介する「ブックプラネット通信」を発行し、教育委員会内や学校に配布し、Webページに掲載しました(平成27年度、2回発行)。</p>	○	<p>【課題】 ○教育センター、学校教育課と連携した学校図書館活用教育に関する体系的な研修の検討。 ○学校図書館を支援する人材として、学校図書館の実務経験がある担当者の配置。⑪</p> <p>【平成28年度に向けての取り組み】 ・学校図書館活用研修と知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」を連続して実施し、体系的な研修として位置づけます。 ・「とよなかスタンダード」の内容を充実させ、研修等を通じて教職員への周知を進めます。⑪</p>

**0. 1から4の目標実現を支えます。
該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑲・⑳**

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成28年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】 【事例】 ICTを活用したセルフ貸出機の導入にともなう業務の見直しを実施しました。高川図書館については運営の省力化および多機能化をめざし、レイアウトの変更を検討しました。</p>	○	<p>【課題】 ○コスト感覚をもちながら地域特性を把握し、ニーズにあった図書館づくりの推進 ○図書館全体のめざす目標を職員間で共有①</p> <p>○特定事業としての見直しの中での分担表の活用。個々の現状の仕事の確認および組織における職域ごとの業務の洗い出し、他の職域の職員に向けての業務の切り出し等 ○連絡会に参加する施設長・副館長の立場の明確化⑤</p>
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】 【事例】多様な雇用形態の職員が自身の業務を見直し、今後の円滑な図書館運営につなげるために雇用形態ごとの役割分担を一覧表にまとめました。また、会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・こども室・参考室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから1名ずつ配置しました。</p>	◎	<p>○(仮称)南部コラボセンター基本構想をふまえた、高川図書館の機能変更 ○多機能化によってできるスペースの活用方法の検討 ○セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化⑫</p> <p>○セルフ貸出機の導入館が8館になったことによるサービスの効果検証⑰</p>
<p>【優先的取組プラン:⑫施設配置の最適化】 【事例】 特定事業の見直しの一環として、分館のあり方を検討し、高川図書館については多機能化をめざしレイアウト変更を検討しました。</p>	○	<p>○セルフ貸出機等導入の効果をふまえたフロアワークの充実⑳</p> <p>【平成28年度に向けての取り組み】 ・高川図書館のレイアウト変更を行い、書架を縮小し、学習支援など、地域の課題解決に寄与するスペースを確保します。またそのスペースを活用できるNPOや団体など担い手の検討を行います。①</p>
<p>【優先的取組プラン:⑰セルフ貸出、返却、予約受取】 【事例】 セルフ貸出機を庄内・東豊中・服部・高川・蛭池に導入するとともに、千里では資料点検期間内セルフ予約棚を開放することで、予約の受け取りを可能にしました。</p>	◎	<p>役割分担表を職員間で共有し、それを元にセルフ貸出機等の導入後の効果を検証し、各館の状況に応じた職員の役割を検討します。 各担当者の連絡会内の進行や調整などの主体は担当職員であること、施設長・副館長の役割はオブザーバー的な立場であることを明確にします。 ⑤</p>
<p>【優先的取組プラン:⑳きめ細やかな接客】 【事例】 気軽に声をかけ易いよう「お探しのものは見つかりましたか」といったワッペンを装着し、フロアワークの実践を続けています。 読書振興課・岡町図書館では、職員研修「接客振り返り研修」(事前研修と実施研修)として、窓口対応や表示等について外部講師からアドバイスを受け、サービスマナーの向上に努めました。(45人参加)また、平成28年4月障害者差別解消法の施行を前に、障害のある方に対するより良い窓口対応等の要領「豊中市の職員対応要領」について、研修を実施しました。(118人参加) セルフ貸出機等の導入により業務の効率化を図り、フロアワークの充実を目指しました。</p>	○	<p>多機能化を目的とした高川図書館のレイアウト変更を行うとともに、スペースの活用が可能な担い手を検討します。また高川図書館を含む分館のあり方について、具体的なプランを検討します。 ⑫</p> <p>8館でセルフ貸出機が導入されたことによる効果検証をすすめます。また引き続き利用者に丁寧な案内を行い、セルフ貸出機等の利用率の向上をめざします。⑰</p> <p>セルフ貸出機が庄内幸町図書館をのぞく全図書館に導入されたことによる効果を確認し、フロアワークの見直しを行います。また研修も引き続き実施していきます。⑳</p>

グランドデザインの28のプラン

20160630

優先順位 A：最優先 B：優先 C：通常

達成度◎：年度内に予定した取り組みを十分達成できた ○：おおむね達成できた

△：一部達成

－：未達成

	項目	達成状況と課題、予定
A 図 書 館 運 営	<p>① 【最適な実施手法の確立】</p> <p>サービスの質の維持・向上を図りながら効率的・効果的に図書館運営を行っていくとともに、地域特性をふまえた特色ある図書館づくりを進めていくため、サービス及び経営の両面から業務の実施主体の見直しも含め、最適な実施手法を確立していきます。</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>ICTを活用したセルフ貸出機の導入にともなう業務の見直しを実施しました。高川図書館については運営の省力化および多機能化をめざし、レイアウトの変更を検討しました。</p> <p>【現状】</p> <p>庄内幸町図書館を除く市内地域館、分館すべてにセルフ貸出機等が設置されたことから、導入にともなう効果検証を行い、効率的、効果的な運営手法の検討をすすめています。市の特定事業の見直しにおいて、日常業務の効率化や高川図書館以外の分館のありかたについても運営の効率化や多機能化に取り組みます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コスト感覚をもちながら地域特性を把握し、ニーズにあった図書館づくりの推進 ○図書館全体のめざす目標を職員間で共有 <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>高川図書館のレイアウト変更を行い、書架を縮小し、学習支援など、地域の課題解決に寄与するスペースを確保します。またそのスペースを活用できるNPOや団体など担い手の検討を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>
A 図 書 館 運 営	<p>② 【評価システム】</p> <p>「豊中市立図書館評価システム」に基づき、事業目的に合わせたサービス提供を検討します。</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>評価作業簡略化のため前年度と同様に、「豊中市の図書館活動」に平成 26 年度分の評価項目表を掲載しました。外部評価実施時期を見直しました。</p> <p>【現状】</p> <p>優先してグランドデザイン(平成 35 年度まで)の進捗管理に取り組んでいます。次回外部評価については実施時期を見直し、平成 24～28 年度の取り組み状況について、平成 29 年度に外部評価を実施する予定です。</p>

		<p>【課題】 ○各館業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化 【達成度：△】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】 評価項目表の作成など、平成 27 年度と同様に実施します。 【優先順位：C】</p>
A 図 書 館 運 営	③ 【業務の改善・集中化】 図書館業務の改善・集中化を進めます。	<p>【平成 27 年度事例】 こども室担当者を中心として業務改善について検討しました。また総務付職員の協力を得て、修理、除籍作業の一部を集中化、司書がおもに専門業務に従事できるよう業務の効率化につなげました。</p> <p>【現状】 庄内幸町図書館をのぞく全地域館、分館にセルフ貸出機が導入されたことから、カウンター業務の見直しをすすめています。</p> <p>【課題】 ○開館日の拡大などサービスの充実に向けた、さらなる業務の改善 ○総務付け職員が担当する業務の切り出し 【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】 カウンター業務のほか、効率的な会議の持ち方などについてもあわせて業務改善をすすめます。また読書振興課および岡町図書館管理担当の業務についても一体的な運営をめざし、調整をはかります。 【優先順位：B】</p>
B 職 員 a 組 織	④ 【グループ制の導入】 全市的な課題に基づいたグループ制を導入します	<p>【平成 27 年度事例】 資料の効率的・効果的な運用をはかるために、資料運用グループによる館間の資料の交換や、古い資料の抜き取りの基準作成などに取り組みました。また分析PRチームなどを中心に、広報と連動した企画や空港課の就航都市間PR事業など、他部局と連携し市の施策に沿った取り組みを進めました。貸出室やこども室担当者連絡会に施設長あるいは副館長が調整担当として入ることで、各担当者の意思決定や職員全体の情報共有が円滑になるようつとめました。</p> <p>【現状】 貸出室、こども室、参考室の各担当者会および資料運用、障害者サービス、分析・PRチームなど、全市的な課題解決に向けてグループ制を導入し全館的に取り組みを進めています。</p> <p>【課題】 ○すでに実施している宅配や施設への団体貸出、団体リサイクル等のサービスの見直しに向けた高齢者サービスグループの編成についての検討</p>

		<p>○グループ会議および施設長・副館長会議、館長会議との情報共有、意思決定の流れの明確化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 グループ会議と施設長・副館長会議および館長会議との情報共有を円滑にすすめるため、各グループや担当者会に連絡・調整の役割を担うグループリーダーや調整担当を置きます。課題解決などの分野別グループ（ビジネス、多文化共生など）についても優先順位を定めた上で取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
B 職 員 a 組 織	⑤ 【職員の役割分担】 職員の役割分担を明確に します	<p>【平成 27 年度事例】 多様な雇用形態の職員が自身の業務を見直し、今後の円滑な図書館運営につなげるために雇用形態ごとの役割分担を一覧表にまとめました。 また、会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・こども室・参考室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから 1 名ずつ配置しました。</p> <p>【現状】 役割分担表の素案を作成、全職員に配布し、意見集約をはかっています。 各担当者会議に調整担当の施設長・副館長が入り、討議を深めました。</p> <p>【課題】 ○特定事業としての見直しの中での分担表の活用。個々の現状の仕事の確認および組織における職域ごとの業務の洗い出し、他の職域の職員に向けての業務の切り出し等 ○連絡会に参加する分館長・副館長の立場の明確化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 役割分担表を職員間で共有し、それを元にセルフ貸出機等の導入後の効果を検証し、各館の状況に応じた職員の役割を検討します。 各担当者の連絡会内の進行や調整などの主体は担当職員であること、施設長・副館長の役割はオブザーバー的な立場であることを明確にします。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>

<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑥ 【採用計画の作成】 常勤職員の年齢構成バランスを考慮した採用計画を作成します</p>	<p>【平成 27 年度事例】 特定事業の見直し進捗管理(総務部行政総務課主管)において、図書館職員数および年齢構成の変化予測をも踏まえ、継続して議論を行いました。任期付短時間職員の更新のための選考、ならびに一般職非常勤職員の選考を行いました。</p> <p>【現状】 平成 32 年度までの職員数変動予測に則り管理しています。平成 27 年度新規採用職員は 0 名、平成 27 年度末定年退職者は 1 名（司書 1）となりました。</p> <p>【課題】 ○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化、および常勤職員の削減予定への対応 ○他部局・学校図書館から人事交流で配属された職員が、速やかに公共図書館について理解を深め、力を発揮できるような対応</p> <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。新たに図書館に勤務することになった職員を対象にヒアリングや人材育成担当者の設定など、人材育成に係る工夫を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： A】</p>
<p>B 職 員 a 組 織</p>	<p>⑦ 【館ごとの目標設定】 地域課題に基づいた館ごとの目標を設定します</p>	<p>【平成 27 年度事例】 高川図書館が（仮称）南部コラボセンターのサテライトの役割を担う視点で詳細設計を行いました</p> <p>【現状】 グランドデザインのプランに沿いながら、地域の課題に対応した、具体的な館の目標を各館で決め、全職員で取り組みました。</p> <p>【課題】 ○図書館全域サービスの必要性から見た長期・短期の目標の設定</p> <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 建物の老朽化という視点からも図書館施設のあり方や配置を検討し、各館の目標を設定します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： B】</p>

<p>B 職 員 b 人 材 育 成</p>	<p>⑧ 【関連部局との人事交流】 関連部局との人事交流を行います。</p>	<p>【平成 27 年度事例】 昨年に引き続き図書館での事業の理解を深めるため、人事交流の職員を対象に、図書館のおもな取り組みについての研修を実施しました。 また平成 26 年度に実施した人事交流について成果と課題を確認し、全体会議等で情報共有に取り組みました。人事交流をさらに円滑にすすめるため、学校司書と公共図書館司書の勤務時間や業務内容などを明確化し、職員間で情報共有を行いました。</p> <p>【現状】 短時間勤務職員と学校司書（平成 26 年 1 組）、常勤職員と他部局の事務職員の人事交流（平成 26 年、27 年各 1 組）を行っています。</p> <p>【課題】 ○26 年度からの成果と課題をふまえた、適切な内容および時期における研修の実施</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】 他部局との常勤職員の人事交流を引き続き実施していきます。 短時間勤務職員と学校司書との人事交流については期間を 1 年から 3 年に変更します。人事交流として学校司書 1 名が公共図書館にて勤務する予定です。（平成 28 年度より）</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： B】</p>
<p>B 職 員 b 人 材 育 成</p>	<p>⑨ 【体系的な研修の実施】 これからの図書館サービスに必要な人材育成のためより体系的な研修を行います</p>	<p>【平成 27 年度事例】 文部科学省・国立社会教育研究所主催の図書館司書専門講座を 1 名、日本図書館協会主催の中級職員ステップアップ研修 1 名、文部科学省主催・新任図書館長研修を 1 名が受講しました。豊中市立図書館の特色ある取り組みについて、内部研修を実施しました。</p> <p>【現状】 市の各種政策課題に関する研修をはじめとして、府や図書館関係団体による研修を受講、図書館内部で学びを共有し、業務につなげています。</p> <p>【課題】 ○他部局・学校図書館からの人事交流の職員や、様々な雇用形態の新規職員を対象とした、豊中市立図書館独自の研修プログラムの充実 ○様々な雇用形態の新規職員について、相談や指導のしくみの充実</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>

		<p>【平成 28 度の予定】</p> <p>児童図書館員養成講座または図書館司書専門講座、新任図書館長研修を職員が受講できるよう取り組みます。また、引き続き豊中市立図書館独自の研修プログラムを実施します。ヒアリングや人材育成担当者の設定などの工夫を実施します。</p> <p>【優先順位：A】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑩ 【先進事例の研究】 先進事例などの研究を業務として行うしくみを整理発信します	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>グランドデザインのプランのひとつでもあり、平成 27 年度図書館協議会でも検討された図書館サポーターについて、全国の先進事例を Web ページなどから調査しました。また次期リプレイスに向けて、図書館システムのセミナーなどにも積極的に参加しています。</p> <p>【現状】</p> <p>図書館関連団体の各種メールマガジンや各種調査などから、内容により有用と思われる先進事例などのトピックを、岡町図書館から施設長・副館長や、職員全体に発信し、情報共有しています。</p> <p>【課題】</p> <p>○直近の課題解決のためだけではなく、長期的な視野のもと、図書館運営に必要な先進事例に関する情報収集・研究をすすめ、発信するしくみの維持・発展</p> <p>【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>引き続き、直近の課題解決のための先進事例の収集・研究とともに、広い話題の中から有用と思われる事例を職員間で共有していきます。</p> <p>【優先順位：B】</p>
B 職 員 b 人 材 育 成	⑪ 【学校図書館を支援する人材の配置】 学校図書館を支援する人材を配置します	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>学校図書館を活用した授業例「とよなかスタンダード」（試作版）を作成し各学校に配布しました。教職員向けの校内研修メニューにも「とよなかスタンダード」を組み込み、学校図書館を活用した授業計画を作成する研修を行いました（平成 27 年度 7 校）。</p> <p>授業における学校図書館活用の現状を把握し、さらなる活用を進めるため、各学校図書館での事例を集約するフォーマットを作成、各学校での記入を開始しました。</p> <p>学校での読書活動や調べ学習等の取組みを紹介する「ブックプラネット通信」を発行し、教育委員会内や学校に配布し、Web ページに掲載しました（平成 27 年度、2 回発行）。</p>

		<p>【現状】 読書振興課に配置された指導主事と公共図書館司書 2 名の計 3 名で学校図書館システム管理、学校図書館訪問、研修の企画・実施等を行っています。各図書館にも地域の学校窓口担当を配置しています。教職員を対象とした校内研修、学校図書館専任職員を対象とした研修、公共図書館こども室担当者と学校図書館専任職員の交流研修等を実施しています。</p> <p>【課題】 ○教育センター、学校教育課と連携した学校図書館活用教育に関する体系的な研修の検討 ○学校図書館を支援する人材として、学校図書館の実務経験がある担当者の配置</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 28 年度に向けての取り組み】 ・学校図書館活用研修と知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」を連続して実施し、体系的な研修として位置づけます。 ・「とよなかスタンダード」の内容を充実させ、研修等を通じて教職員への周知を進めます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
C 施設 ・ 物流 a 施設 活用	⑫ 【施設配置の最適化】 施設配置の最適化を図ります	<p>【平成 27 年度事例】 「特定事業の見直し」の一環として、分館のあり方を検討し、高川図書館については多機能化をめざしレイアウト変更を検討しました。</p> <p>【現状】 豊中市市有施設有効活用計画において検討を行い、特定事業として進捗状況を発表しました。総務部行政総務室「特定事業の見直しの進捗状況 平成 28 年 3 月公表 P.18～P.20」参照</p> <p>【課題】 ○（仮称）南部コラボセンター基本構想をふまえた、高川図書館の機能変更 ○多機能化によってできるスペースの活用方法の検討 ○セルフ貸出機等、ICTを活用したサービスによる業務の効率化</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 多機能化を目的とした高川図書館のレイアウト変更を行うとともに、スペースの活用が可能な担い手を検討します。また高川図書館を含む分館のあり方について、具体的なプランを検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>

<p>C 施設 ・ 物流 b 物流</p>	<p>⑬ 【柔軟な物流体制】 市民に効率的に資料・情報を届ける柔軟な物流体制を整えます</p>	<p>【平成 27 年度事例】 各館を巡回する物流については平成 27 年度より月曜日に午後 1 回の運行（幸町・服部・東豊中を除く）を開始したほか、巡回の体制についても 1 名から 2 名になったことから、車への積み込みなどの補助も不要となり、図書館職員の業務軽減につながりました。</p> <p>【現状】 各館を巡回している物流については、一部の館を除き、月曜日についても巡回を開始したことにより、休館日の翌日における物流の増加が緩和されました。 月曜便の運行により豊中駅前の“すてっぶ”に設置した返却ポストへの臨時の資料回収が不要となりました。</p> <p>【課題】 ○資料運用や巡回展示のために必要な資料の運搬にも対応できる物流体制の整備</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <hr/> <p>【平成 28 年度の予定】 物流の全体量を勘案しながら、資料運用などに活用し、各館での書架づくりに反映させる。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
<p>調査 ・ 分析</p>	<p>⑭ 【調査分析】 全市的な視野で調査分析を行い、市民ニーズに沿った適切な図書館サービスを提供します</p>	<p>【平成 27 年度事例】 新刊資料の在庫数について、館によるばらつきの是正と資料の有効活用をめざし、新刊資料を定期的に移動させる運用を試行しました。3 ヶ月の試行後、新刊率（在庫資料に占める受入れ後 3 年以内の資料の割合）の平均化と新刊貸出率の上昇が見られたので、さらに分析を加え、引き続き改善を行っていきます。 地域別の登録率と 4 年間の登録率の増減などにより、特に PR 等に力を入れていくべき地域を検討しました。</p> <p>【現状】 分析 PR チーム・資料運用グループなど、それぞれの役割で調査分析を行い、サービス展開につなげる取り組みが増えつつあります。</p> <p>【課題】 ○職員の統計的な手法の一定の習得</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>

		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>試行分析結果からの改善案での資料運用をすすめます。</p> <p>登録率と登録率増減の分析から得られた結果により、必要な地域への働きかけを行います。中核市における図書館のサービス内容およびコストについて情報収集、分析に取り組みます。</p> <p>【優先順位：A】</p>
E 情 報	<p>⑮ 【情報の積極収集、共有・活用】</p> <p>サービスに有効な情報を各職員が積極的に収集し、共有・活用します</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>10 月の全体職員会議において各館からの研修報告を実施し、研修成果を共有しました。また 2 月の全体職員会議では市民協働事業「しょうない REK」の取り組みについての報告や障害者差別解消法についての職員研修を行い、職員間での情報共有を図りました。</p> <p>【現状】</p> <p>研修で得た情報を職員間で共有するため、全体の職員会議や各担当者連絡会などで報告の機会を設けています。また職員が他の自治体の図書館を見学した内容をグループウェアに掲示するほか、研修会で報告するなど職員間の情報共有に努めています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的な情報共有の手段の検討 ○全体会議において、限られた時間内での情報共有 <p>【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>研修で得た先進的な事例等については全体会議において共有をはかります。また引き続き積極的な研修への参加と職員間の情報共有を進め、実務へ反映させます。</p> <p>【優先順位：C】</p>
F 資 料	<p>⑯ 【地域で必要とされる資料の提供】</p> <p>地域の課題と利用の動向をさらに細やかに分析し、地域で必要とされている資料を提供します。</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>新刊資料の在庫数について、館によるばらつきは是正と資料の有効活用をめざし、新刊資料を定期的に移動させる運用を試行しました。3 ヶ月の試行後、新刊率（在庫資料に占める受入れ後 3 年以内の資料の割合）の平均化と新刊貸出率の上昇が見られたので、さらに分析を加え、引き続き改善を行っていきます。</p> <p>【現状】</p> <p>分析 PR チーム・資料運用担当など、それぞれの役割で調査分析を行い、サービス展開につなげる取組みが増えつつあります。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各館における利用動向の分析 <p>【達成度：○】</p>

		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>試行分析結果からの改善案での資料運用をすすめます。</p> <p>【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>⑰ 【セルフ貸出・返却・予約受取】</p> <p>セルフ貸出・返却・予約受取ができる環境を整えます</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>セルフ貸出機を庄内・東豊中・服部・高川・蛭池に導入するとともに、千里では資料点検期間内もセルフ予約棚を開放することで、予約の受け取りを可能にしました。</p> <p>【現状】</p> <p>平成 27 年度末に 5 館にセルフ貸出機が導入されたことから、新規導入館は利用者に対して丁寧なフォローが必要です。</p> <p>【課題】</p> <p>○セルフ貸出機の導入館が 8 館になったことによるサービスの効果検証</p> <p>【達成度：◎】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>8 館にセルフ貸出機が導入されたことによる効果検証をすすめます。また引き続き利用者に丁寧な案内を行い、セルフ貸出機等の利用率の向上をめざします。</p> <p>【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>⑱ 【開館日数の拡充】</p> <p>開館日数等を拡充します</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>資料点検期間については、セルフ貸出機設置の工事を実施した図書館以外は、概ね 1 日から 4 日の期間短縮を行いました。</p> <p>千里図書館では、5 日間の資料点検中にセルフ予約棚を開放することで、部分的な開館につなげました。</p> <p>【現状】</p> <p>先行で導入した岡町・千里・野畑のセルフ機の統計での利用状況を把握しました。千里の月曜開館についての検討を始めました。岡町図書館のこども室・参考室の開館時間の延長などの要望があります。</p> <p>【課題】</p> <p>○千里図書館の開館日拡充に向けての必要な条件整備、バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化</p> <p>【達成度：△】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>プラン⑤（職員の役割分担）で作成した職員の役割分担表をもとに事業見直しを行い、効率化をはかります。</p> <p>庄内幸町を除く全館にセルフ機の設置が完了したことを機に、全館的な効果検証を行うとともに、千里図書館における月曜開館にむけ</p>

		<p>た具体的なプランを検討します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	<p>⑱ 【予約資料の受取場所の拡充】</p> <p>予約資料の受取場所の拡充を検討します。</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>千里図書館は予約受取り専用のセルフ予約棚が設置されたことにより、資料点検中も予約資料の貸出しが可能となりました。</p> <p>【現状】</p> <p>市民の図書館利用のスタイルについては、図書館に一定時間滞在し棚から借りたいものを選ぶ方法と、ネットから予約して受取るためだけに訪れる方法の 2 極に分かれる傾向が伺えます。予約受取りに特化した施設は現状において設置していません。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場所の確保、設備投資、物流便の整備の検討 ○各館の図書館機能の見直し <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>平成 27 年度にセルフ貸出機を導入した館も含めセルフ化の効果検証を進めます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>⑳ 【ICT の活用】</p> <p>ICT を活用したサービスを提供します</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>セルフ貸出機を庄内・東豊中・服部・高川・蛍池に導入しました。セルフ予約棚を導入している千里では資料点検期間内も予約の受け取りが可能となりました。</p> <p>【現状】</p> <p>千里図書館にセルフ予約棚、セルフ返却機、セルフ貸出機、野畑図書館にセルフ返却機、セルフ貸出機、庄内・東豊中・服部・高川・蛍池図書館にセルフ貸出機を導入しています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ予約棚、セルフ返却機、セルフ貸出機の効果検証 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>マルチメディアダイジー図書の貸出を 4 月より開始します。国会図書館デジタル化送信サービスに対応し、市民に国会図書館のデジタルデータを提供できるよう機器の設置を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>

G サ ー ビ ス	<p>⑳ 【広域連携の拡大】</p> <p>広域連携のさらなる拡大を行います。</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>豊能地区 3 市 2 町の広域利用について 4 月より本格実施しました。北摂市長会から「北摂地区における公立図書館の広域利用について」の提案を受け、北摂 7 市 3 町の企画部門、図書館担当者による検討会議が開催されました。これにより、平成 28 年実施予定としていた吹田市との対象館拡大を含む本格実施については一旦保留し、平成 30 年までの試行延長としました。</p> <p>【現状】</p> <p>会議を通じて企画部門や各市図書館との情報交換を行いながら、実施について前向きに検討を行っています。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪府市長会からの広域利用についての新たな提案 ○豊中市西南部の広域利用 <p style="text-align: right;">【達成度：◎】</p>
	<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>利用地域拡大に向けての手続きやPR、システム変更などの準備を行います。</p> <p>吹田市との広域利用の試行を 2 年間延長します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>	
G サ ー ビ ス	<p>㉑ 【きめ細やかな接客】</p> <p>よりきめ細やかな接客を行います</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>気軽に声をかけ易いよう「お探しのものは見つかりましたか」といったワッペンを装着し、フロアワークの実践を続けています。読書振興課・岡町図書館では、職員研修「接客振り返り研修」（事前研修と実施研修）として窓口対応や表示等について、外部講師からアドバイスを受け、サービスマナーの向上につとめました。（45 人参加）また、平成 28 年 4 月障害者差別解消法の施行を前に、障害のある方に対するより良い窓口対応等の要領「豊中市の職員対応要領」について、研修を実施しました。（118 人参加）セルフ貸出機等の導入により業務の効率化を図り、フロアワークの充実を目指しました。</p> <p>【現状】</p> <p>平成 27 年度に、庄内・東豊中・服部・高川・蛍池にもセルフ貸出機が導入され、業務の効率化をすすめています。より細やかな接客、フロアワークの充実を、新規導入館でも充実させていきます。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ貸出機等導入の効果をふまえたフロアワークの充実 <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>

		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>セルフ貸出機が庄内幸町図書館をのぞく全図書館に導入されたことによる効果を確認し、フロアワークの見直しを行います。また研修も引き続き実施していきます</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㉓【図書館活用の幅を広げる】</p> <p>サービスを具体的に例示し、図書館活用の幅を広げます</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>課題解決に関連する行事を実施する際、会場で資料の紹介等を行っていますが、図書館以外の施設、例えば保健所における関連資料の出張展示・貸出については、「次回開催時もぜひ」との要望もあり、好評です。</p> <p>27 年度は 70 周年記念パネル展を第 2 庁舎にて行い、図書館の歴史やさまざまなサービスについて写真と解説で紹介しました。多くの市民の方に改めて図書館の現状、今後の方向性を知っていただく機会となりました。</p> <p>【現状】</p> <p>課題解決に関連する催しについては、回を重ねるごとに事前の問合せも増え、関心の高さが伺えます。</p> <p>【課題】</p> <p>○現在ある資源を活かした新しいサービスの可能性の検討（「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」など）</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>市制 80 周年に関連する取り組みを行います。身近に利用できる施設として地域に親しみやすい図書館サービスを模索しつつ、従来の手法にこだわることなく、省力化・合理化についても検討を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：C】</p>
G サ ー ビ ス	<p>㉔【集会室利用の活性化】</p> <p>集会室の利用を活性化します</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>高川図書館では、夏休みに公民館と共催で「夏休み宿題サポート」を実施、「ぶらりあん」を夏季休暇期間より行事開催を除く午後から自習室として開放しました。昨年度に引き続き書庫内レコードの展示も同室で実施しました。野畑図書館でも夏休み中、児童集会室を自習に開放し、さらに 2 階ロビーに机と椅子を配置、フリースペースとして活用しました。</p> <p>今年度から、庄内図書館 3 階協働事業スペースでは、学習や調べものをされる方に向けた図書館の新刊資料に関する案内掲示を始めました。</p>

		<p>【現状】 図書館の定例行事と登録団体の定期利用が中心となっています。 また自習スペースにおいては、児童生徒等への安全管理に配慮を行っています。</p> <p>庄内図書館3階協働事業スペースでは、公衆無線 LAN「FREE SPOT」を活用したインターネット環境を整えて、持ち込み資料や図書館資料での学習や調べものための自習スペースとして、子どもから大人まで幅広い年代の方の利用があります。また2階こども室の閲覧コーナーも「しょうないとしょかん しゅくだいおうえんだん」として小学生や中学生の自習・試験勉強等に活用されています。利活用に関するポスターを館内に掲示し、Web ページに掲載するなど積極的に PR に取り組んでいます。</p> <p>【課題】 ○利用の固定化 ○一般開放した際の安全管理</p> <p style="text-align: right;">【達成度： ○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 集会室に限らず館内にあるスペースを活かし、図書館利用と地域の活性化につなげていきます。</p> <p>庄内図書館では平成 28 年度から公民館の部屋を活用して自習室を開放する予定の南部地域連携センター・庄内公民館と連携して協働事業スペースの自習スペースが市民にさらに活用されるよう取り組みを進めます。その一つとして、4 月に図書館 Web ページで庄内公民館での自習室開放の PR を実施する予定です。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位： B】</p>
G サービス	<p>㊫【市民の社会参加、地域との関わりづくりの支援】 豊かな市民力を育む生涯学習の情報基盤としての公共図書館の役割をはたし、市民の社会参加や地域との関わりづくりを支援します</p>	<p>【平成 27 年度事例】 平成 26 年度に引き続き、情報検索の仕方や本の装備を体験するなど、庄内図書館等で「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、図書館についての理解を深める機会としました。また図書館協議会において図書館サポーター制度の討議を行い、意見をいただきました。さらに健康増進課や産業振興課との協働による課題解決支援サービスの一環で講演会などでの資料提供についても継続して実施しています。</p> <p>【現状】 公共施設や地域で行われる取り組みに参加し、地域のニーズを把握するとともに、図書館が地域の知の拠点として機能することを PR する機会としています。また他課との連携による事業にも取り組んでいます。</p>

		<p>【課題】</p> <p>○市民への図書館の役割についての周知 ○市民協働の事業内容について市民への周知</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>「しょうないREK」や「北摂アーカイブス」、「千里コラボ」および「子ども読書活動連絡会」など、市民協働の事業に継続して取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
G サ ー ビ ス	<p>②6 【地域情報の活用機会の提供】</p> <p>地域の情報を収集・提供・保存し、市民が地域情報を活用する機会を提供します</p>	<p>【平成 27 年度事例】</p> <p>第 2 庁舎にて開催された図書館 70 周年パネル展は、北摂アーカイブスなどを含めて、図書館で実施している事業・取り組みについて広くお知らせする機会となりました。市民活動情報サロンで行われたアーカイブ関連の催しも好評を得ました。</p> <p>【現状】</p> <p>北摂アーカイブスにおいては作業が継続的に進んでいます。地域の記憶を記録に残す取り組みは、催しなどを通じて市民に知られる機会が増えています。また地域資料についても積極的に収集をすすめています。</p> <p>【課題】</p> <p>図書館以外の催しにおいて、要望に応じて地域資料や関連図書を貸出することができる機会の設定、PR手法の検討</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】</p> <p>引き続き地域情報などの資料収集に取り組み、内容の充実を図るとともに、展示などの機会を持つことで、北摂アーカイブスの Web ページをまだ利用していない市民へも情報提供を行います。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>
G サ ー ビ ス	<p>②7 【図書館サポーターへの参加機会の提供】</p> <p>図書館サポーターへの参加機会の提供を行います</p>	<p>【平成 27 年度実例】</p> <p>26 年度に続き、庄内図書館等で成人利用者向けの「大人のための図書館のお仕事体験ツアー」を開催し、利用者が図書館の仕事の一部を体験できる機会をもちました。また、図書館協議会ではサポーター制度について検討し、3月に「図書館サポーターについての意見書」としてまとめられました。</p>

		<p>【現状】 サポーター受入のための研修制度の整備を進めるとともに、他市の事例の情報収集も続けています。</p> <p>【課題】 ○意見書をふまえた、市民それぞれの得意分野で活躍できる制度設計</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p>
		<p>【平成 28 年度の予定】 図書館協議会の意見書を受けて、方法を研究・調査し、28 年度中にサポーター制度を導入します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：A】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">H 広 報</p>	<p>㊸ 【効果的な広報】 方針を定めて効果的な広報を行います</p>	<p>【平成 27 年度事例】 広報 4 月号から「私の本棚」を広報広聴課と連携して隔月で連載、図書館での巡回展示や図書館ホームページでの紹介も行っています。 図書館開館 70 周年記念パネル展を市役所第二庁舎ロビーで開催し、70 年のあゆみや現在の図書館の活動などを紹介しました。 図書館の近隣の施設や商店、カフェ、新築マンションなどへ、PR ポスターの掲示を依頼するとともに、PR チラシの配布を行いました。</p> <p>【現状】 図書館をまだ利用されていない方に、広く図書館の所在や活動を知ってもらおう取り組んでいます。年齢層や地域などターゲットを絞り、より有効に届く PR について引き続き検討中です。</p> <p>【課題】 ○図書館の所在の認知度の向上 ○図書館サービスの認知度向上</p> <p style="text-align: right;">【達成度：○】</p> <p>【平成 28 年度の予定】 引き続き、広報広聴課と連携し「私の本棚」を展開し、転入者向け図書館案内チラシを配布します。 「まちライブラリー BOOK FESTA」など公・民が広く参加する事業にも参加し、より幅広い層に PR します。</p> <p style="text-align: right;">【優先順位：B】</p>